

# 大阪市立修道館柔道昇級審査基準表

平成31年3月26日

級	審査項目	実施要領	
7級	服装を正す 正座の仕方 礼の仕方 すり足 後ろ受身 横受身 体さばき	一人で柔道衣を正しく着ることができる  座礼・立礼  中腰の姿勢から 中腰の姿勢から 前さばき 前回りさばき 後ろ回りさばき	一年生から順次取得していくこと  (当該級での修行経験を3か月以上必要とする)
6級	後ろ受身 横受身 前受身 前回り受身 膝車 大腰 袈裟固	立った姿勢から 立った姿勢から 膝をついた姿勢から その場での前回り受身	
5級	前回り受身 前受身 寝技の基礎運動 支釣込足 釣込腰 上四方固	移動しながら 立った姿勢から 脇締め エビ 逆エビ 横エビ	
4級	前回り受身 送足払 大内刈 背負投 横四方固 抑込技の自由稽古	障害物を越えて  1分×2本 相手を変えて 背中合わせから	
3級	前回り受身 小外刈 小内刈 体落 払腰 崩上四方固 投技の連絡変化 立技の自由稽古	投の形の「浮落」の要領で実施(左右)  練習してきた連絡変化を実施 2種類 1分×2本 相手を変えて	
2級	内股 肩固 抑込技の連絡変化 試合(2分)	練習してきた連絡変化を実施 2種類 練習試合であり、2試合を行い 1勝以上	
1級	縦四方固 投技から抑込技の 連絡変化 試合(2分)	練習してきた連絡変化を実施 2種類  ・ 3人リーグの場合:1勝1分 以上 ・ 4人リーグの場合:2勝以上 ・ 5人リーグの場合:2勝1分 以上	

※ 主催者側と協議のうえ、技能レベルに相応する級から受験させることができるが、最低6か月以上の柔道経験を有する者でなければならない。

公益財団法人大阪武道振興協会